

日本原子力学会炉物理部会第 27 回総会議事録

日時：平成 19 年 3 月 29 日(木) 12:00～13:00

場所：日本原子力学会 2007 年春の年会 E 会場（名古屋大学 IB 電子情報館 IB 大講義室）

配布資料：

1. 平成 18 年度炉物理部会活動報告
2. Note of discussion for AESJ/KNS Joint Session
3. TECHNICAL COLLABORATION AGREEMENT (DRAFT)
4. 部会表彰規定
5. 平成 18 年度炉物理部会収支予算報告・平成 19 年度炉物理部会収支予算案
6. 平成 19 年度炉物理部会運営委員交代（案）
7. 部会等運営委員会報告
8. 炉物理部会 2007 年度夏期セミナーの開催予定（案）

議事：

（進行：関本 H18 年度部会長）

1. 平成 18 年度活動報告

(1) 部会長報告

関本部会長から、資料 1 に基づき平成 18 年度の活動報告があった。フェローの部会推薦については、部会推薦枠が 1 名であったため、仁科浩二郎氏を推薦した旨報告があった。また、小原庶務幹事から資料 2、3 に基づき日韓ジョイントセッションに関する協議経過と協定書案について説明があり、2007 年 5 月に韓国済州島で開催される日韓ジョイントセッションの際に各部会長による署名・調印がなされる予定である旨説明があった。

(2) 決算報告（財務小委員会）

財務小委員会安藤委員より、資料 5 に基づき報告があり、了承された。

(3) 編集活動報告（編集小委員会）

代理の小原庶務幹事から、「炉物理の研究」の発行が遅れているが 4 月には発行できる見込みである旨及び編集中の部会報の概要について報告があった。

(4) 学術研究交流活動報告（学術研究交流小委員会）

山本敏久委員より、昨年計画されていた日韓ジョイントセッションは、韓国側との調整がうまくいかず中止となったが、その後の調整で本年 5 月 11 日に韓国済州島で開催されることとなり、炉物理部会からは、京大炉宇根崎氏、東工大小原氏、阪大学生の桐村氏の 3 名が参加することとなったことが報告された。また、学生の桐村氏には部会より 50,000 円の旅費の補助をすることが確認された。

(5) その他

上記以外の報告は特になかった。

2. 平成 19 年度運営委員選出

関本部会長から、資料 6 に基づき平成 19 年度運営委員案について説明があった。資料で未定となっている学术交流小委員会担当幹事（任期 2 年）の後任については、北大の辻氏の内諾が得られている旨山本敏久平成 18 年度委員より説明があったため案に加えることとなった。他の未定となっている財務小委員会幹事（任期 2 年）、編集小委員会幹事（任期 2 年）については人選を次期部会長に一任とすることで平成 19 年度運営委員案が了承された。

（進行：代谷 H19 年度部会長）

3. 学会委員会報告

(1)部会等運営委員会報告（部会等運営委員(東工大小原代理)）

代理の東工大小原氏より、資料 7 に基づき報告があった。

(2)編集委員会報告（編集委員会担当委員）

中島編集委員会委員より、学会誌の投稿が Web 化される予定である旨の説明があった。

4. 平成 19 年度の活動について

(1)平成 19 年度予算案(財務小委員会)

安藤委員より、資料 5 に基づき説明があった。発行が遅れている炉物理部会報の印刷費等は平成 18 年度予算で支出するのか、平成 19 年度予算で支出するのかについて質問があり、平成 19 年度予算で支出する場合は予算、決算を一部修正することを確認したうえで、了承された。

(2)炉物理夏期セミナー

松村副部会長から、資料 8 に基づき 2007 年度の炉物理夏期セミナーの計画の説明があった。日程は、平成 19 年 8 月 6 日～8 日、場所は東京麻布で、内容等については検討中と説明があった。また銀行口座開設の必要上、2007 年度炉物理夏期セミナー実行委員会要領を作成した旨説明があった。

(3)秋の学会企画セッション

代谷部会長より、秋の学会での炉物理・核データ合同セッションは炉物理部会側が企画することになる予定で、約 1 ヶ月以内に企画を学会に提出する必要があるため、企画についての提案があればメール等で寄せてほしい旨要請があった。

(4)炉物理部会表彰

代谷部会長から、平成 19 年秋の大会から部会賞表彰を行うので今後推薦の募集等を連絡する予定である旨説明があった。

(5)日韓合同セッション

次回の日韓合同セッションは 2007 年 5 月に韓国で行うので、その次の日韓合同セッションは

2009年3月に日本で行うことになることが確認された。

(6)日韓サマースクール

日韓サマースクールは2年に1度の開催であるので、今年度の開催はなく、次回は2008年度であることが確認された。

5. その他

HP担当幹事構須山氏より、原子力機構のサーバーのシステムの変更作業のため、作業中(1ヶ月程度)ホームページが使用できなくなる旨説明があった。また、卒業等で炉物理部会メンバーリストに登録されている学生のアドレスが変わる場合は連絡してほしい旨依頼があった。

以上